



真生会白百合ベビーホーム便り

明るく、楽しく、元よく

慌ただしい師走の時期となりましたが、子どもたちは、落ち葉やどんぐりを集めに、戸外へよく出かけています。

室内共用のスペースでは、巨大な段ボール迷路遊びの時期となり、職員の会議は、迷路の隅っこで行われています。

ユニット内では、クリスマスに備えて、オーナメントを作ったり、手作り楽器で歌ったり踊ったりです。

「セカセカ」を「ウキウキ」に変える魔法を、子どもにかけてもらい、職員一同、関係者の皆様に、一年の感謝をお届けいたします。

来年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人真生会 白百合ベビーホーム 理事長／院長 青木紀久代

ホームカミング



秋晴れの中、11月2日と3日の2日間に渡り、ホームカミングを開催しました。年々参加いただける人数が増え、今年度は初めて2日間に分けての開催でした。1歳から17歳まで総勢71名の卒園児とご家族、次の養育者としてバトンを託した施設の方々73名が来院され、職員OGの方々にもお手伝いいただきました。

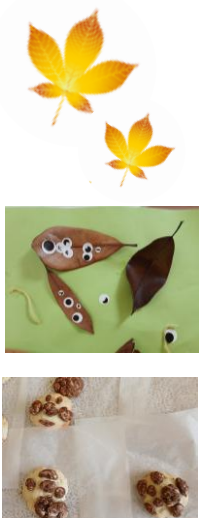
大人も子どもも懐かしい顔ぶれと再会し、ゲームをしたり、「歩行開始となった」「就職が決まった」など近況を語らい、その成長を共に喜ぶ機会となりました。特にゲームコーナーでは、動物がテーマのBINGOを行い、子どもたちからはアリ、カメ、カタツムリなど、大人の想像を超えた名前があがり、大盛り上がりでした。子どもたちの成長を振り返る際にベビーホームで過ごした日々が大切な思い出として残るよう、これからも繋いでいけたらと思います。また来年、元気なみなさんに会えることを職員一同心より楽しみにしております。

11月 各ユニットの様子

【たんぽぽ・すずらん】

あっという間に秋も深まり、紅葉や落ち葉の季節になりました。子どもたちは元気いっぱいに広場を駆け回ったり、色付いた木々やひんやりしてきた空気を思い切り感じながら、落ち葉の製作を楽しんだりして秋を満喫中です！

ある日は調理さんとのクッキングを楽しみ、大好きなアンパンマンのクッキーを作りました。とっても可愛らしく、美味しく出来上がりました！



【ひまわり・なのはな】

だんだんと肌寒くなり、秋から冬へと変わりゆく時期となりました。みかん狩りやお芋ご飯、焼き芋を食べて秋を堪能しました。ひまわり・なのはな子どもたちは食べることが大好きです！身体を動かすことも忘れず、秋の澄んだ空に飛行機を見つけたり、落ち葉で遊んだり、寒くなっても戸外遊びを元気いっぱいにしています。



【あさがお・すみれ】

気温差が激しい中、子どもたちは大きく体調を崩すことなく、元気に過ごしています。晴れた日には外遊びをたくさん行い、自然に触れ楽しんでいきます。ハロウィンには、おばけやかぼちゃのおばけ、モンスターの風船を作り、しがみついたり、ボールのように投げたり、中に入っておばけになりきったり、それぞれの遊び方で楽しんでいました。また、当日は大きな段ボールでおばけのお家を作ると、大きい子は見立て遊びとなり、中でオレンジの布を被り「かぼちゃのおばけだぞー」緑の布を被って「たまねぎのおばけだぞー」とおどかさず場面もありました。みかんの収穫では、朝から心待ちにしていた、どれがいいかな～と取りたいみかんを自分で決めました。自分で選んだみかんはおいしかったようで、まるごとかぶりつく子も！みんなとても満足そうでした。



【もも・あんず】

舞い散る枯れ葉や冷たい風に本格的な冬の訪れを感じるこの頃。食べることが大好きなもも・あんず子どもたちは、さつまいもご飯を作ったりみかん狩りをして食欲の秋を満喫しました。暖かい日には戸外遊びを行い、落ち葉遊びやどんぐり拾いをしたり、持って帰ってきた落ち葉やどんぐりで製作したりしました。

大きい子たちは率先してお手伝いをしてくれるようになり、ご飯の準備や洗濯物を干すのを一緒にやってくれ、出来ると嬉しそうに「できた！」と見せに来てくれます。



おはなしの会



月に1回実施しているおはなしの会。絵本の読み聞かせや手遊び歌、わらべ歌を通して、いつも楽しい語りかけをしてくださるので、言葉のリズムや物語の世界に触れられるような場になっており、子どもたちもいつも楽しみにしています。

プログラムの様子



今年度の大きい子のグループでは、たくさんある絵本の中から自分で好きな本を選び、1対1で自分に向けて読んでもらえる時間を作っています。お気に入りの絵本を見つかったり、じっくり集中して聞いていたり、それぞれのペースに合わせて絵本を楽しむことのできる特別な時間、子どもたちの成長も感じられる時間にもなっています。これからも子どもたちがゆったりと過ごせて、絵本やリズムの世界に入っていけるようなあたたかい場を大切にしていきたいと思います。

今月の遊び「落ち葉遊び」

鮮やかな紅葉の季節となりました。ある風の強い日、子ども達がじーっと外の様子を見つめています。視線の先は、風に吹かれて飛んでいくたくさんの葉っぱでした。外に出るとはしゃぎながら落ち葉を手で広げたり、足やコンビカーで踏んでみたり、感触や音を楽しみます。続けて、ほうきやちりとりを片手にお掃除の始まり。落ち葉の中に木の実も見つけました。今月のテーマ「落ち葉遊び」を子ども達の発想力で楽しんだ1日でした。



土の恵みプロジェクト



少し冬の訪れを感じる曇り空の中、子どもたちを玉ねぎ畑にご招待。玉ねぎになる前のひよろひよろ苗の植えつけをみてもらいました。「こんな細い苗が玉ねぎさんになるんだよ」「不思議だね～」とお話すると、「ふしぎ～」と目を丸くして見入っていました。「これなあに？」とマルチシートを見つける観察力の鋭さはさすがです！「みんなも寒いと上着を着るでしょ？玉ねぎさんにも着せてあげたのよ。」自然に囲まれた環境で育つ子どもたちの豊かな心の成長に触れ、私たちの心も温かさに包まれたひとときでした。



環境部門の職員は、畑やお花の手入れ以外に、院内外の清掃や洗濯、修繕などを担っています。

先日もお部屋で不要になったものを引き受け、分別して処分してくれる姿がありました。扉の閉めづらさや壊れたおもちゃも直してくれる環境さん。見えないところで子どもたちの生活を支えてくれています。



12月の予定

- 2日 ダンスプログラム
- 10日 リトミック
- 17日 コンサートリーディング
- 18日 防災訓練
- 20日 おはなしの会
- 22日 アートプログラム
- 25日 クリスマス会

今月の絵本

クリスマスの
おとしもの

作：えがしらみちこ

講談社

星をつるよる

作：キム・サングン
訳：すんみ

パイ インター
ナショナル

発行元 横浜市泉区中田東1-41-3
社会福祉法人真生会
白百合ベビーホーム
責任者 院長 青木 紀久代
電 話 045-803-0398